

公園ができたから地域が輝くのではなく、地域への愛着心が、地域を輝かせるのだと思っています。今後、平良という地域の特色を生かしながら、訪れる人を温かく迎えたいですね。

「地域が育ち、人の心も育てる」公園であり続けることを願っています。

公園ができたから地域が輝くのではなく、地域への愛着心が、地域を輝かせるのだと思っています。今後、平良という地域の特色を生かしながら、訪れる人を温かく迎えたいですね。

2月に植えた桜は、小さいながらも花を咲かせた。「みんなでつくり、みんなで育み、永く愛され親しまれる『さくらのおか公園』。地域の方々に『さくらのオーナー』を募集したところ、47本すべてに応募があった。趣旨に賛同いただいた方からの寄附金は事業費の一部に充てられる。記念日やこれからの誓いなど思い思いの言葉が書かれたプレートが桜の木に付けられている。田中さんもオーナーの一人で、書かれた文字は「桜花爛漫（おうからんまん）」。この公園が未来に向かって明るくなるよう願いが込められている。

平良地区コミュニティ
会長
たなか・かずお
田中 和雄さん

特集 桜咲く、終わり



公園づくりは、これから始まっていきます

平良地区コミュニティ
副会長
みやけ・ひでとし
三宅 英俊さん

コミュニティとしてみんなで応援しようと、その取り組み

が始まりました。公園は完成しましたが、実際に桜が咲き誇るには5年くらい必要でしょうか。また、成木になるまでは、細かな管理が求められます。夏の暑い時期の草刈りや水やりなど、維持管理の方法をみんなで決めていかなければなりません。そのため、スタートしてからの1年間が非常に大事だと考えています。

また、公園内にはゴミ箱を設置していないので、ゴミの持ち帰りの徹底を考えていきたいと思っています。

春の桜だけでなく、夏にはカブトムシなどの昆虫が見られ、秋にはドングリが拾えたりと、1年中子どもたちが勉強に励んだり、遊んだりできるよう、クヌギやカシなどの木も残してあります。子どもたちの声の絶えない公園にしていきたいと思っています。

今後も、旗振り役として携わりたい

平良地区コミュニティ
副会長
おがわ・のぶひろ
小川 信弘さん

地域の人が喜ぶ公園にしよというものが、わたしたちの共通の思いでした。そのため地区内の町内会はもとより、平良小学校やPTAの方々にも呼び掛けしたところ、多くの方の協力を得られ、今に至ることができました。

大事なことは次の世代に引き継いでいくことです。作るのには1年2年でできますが、年に数度の草刈りなど維持管理は永遠に続いていきます。今後の管理が大きな課題ですね。

平良地区内には43の町内会がありますが、その半数以上は会長や役員が毎年変わります。次の人にどれだけ伝わっていくのか、そして地区内でどれだけ協力が得られるかが大きなポイント。コミュニティとして、その呼び掛けに力を入れていきたいと考えています。

何より、地域の力で作り上げた公園です。この場所を使って何ができるのかを考えるのも楽しみの一つですね。



公園の未来を語る

さあ、公園はできた。これからどう活用していくか。求められる公園の姿とは。その可能性を探る。



まちづくりへの気持ちを
感じ取ってほしい

平良小学校 PTA会長
むかい・めぐみ
向井 恵美さん

地域の方にはいつも子どもを見守っていただいているので、保護者として公園づくりに関わることで地域への恩返しのために参加させていただきました。

ワークショップから参加させていただき、作り上げていく喜びを実感しました。その中でも、地域と行政、そしてPTAが力を合わせて何かに取り組むということは初めての経験でしたが、力を合わせれば何でもできるということが分かりました。忙しい中、多くの保護者の方に参加していただいたことは本当に感謝しています。

PTA活動としていろいろな携わり方がありますが、まずは清掃活動を考えていきたいと思っています。

子どもたちには、公園を守っていく地域の方や保護者たちの姿を見て、まちづくりへの気持ちを感じ取って成長してもらえたらうれしいです。

地域を愛する「心」を
育てていきたい

平良小学校 校長
つくだ・けいこ
佃 恵子さん

前校長のときから、地域の小学校としてこの公園づくりに参加させていただきました。児童も名前を考えたり、作業に参加したりと一緒に作り上げたことで、身近に感じ、大事に使ってほしいという意識が生まれていると感じています。

児童が地域の人と関わることで、学校の授業では学べない多くのものを吸収したと思います。児童が地域を愛し、誇りに思う「心」を育てていくのは、学校の使命です。この公園づくりで本当に大事なことは、子どもたちが地域の人たちと一緒に汗をかき、一つの目標に向かって進んだことだと感じています。

生活科や理科での観察、図工の写生や総合的な学習の時間などでの活動を通して、幅広く公園を利用してほしいと思っています。

